



<参加メンバー>

参加メンバー：3人（男性1人、女性2人） 天候：晴れ

<コースタイム>地下鉄なかもず駅10：10～定の山古墳～11：00ニサンザイ古墳～11：40百済の湯の谷（湧き水井戸：髪蒼の水）～御廟山古墳～13：00大仙公園（ランチ）14：50～15：30履中天皇陵～16：20いたすけ古墳～長塚古墳～16：30JR百舌鳥駅 歩行時間：約4H 距離：約10km

<行動の概要>

今回は距離があったのでレンタサイクルで仁徳天皇陵古墳や反正天皇陵古墳を巡り堺市役所の展望台から古墳群を俯瞰したが、今回は前回の後半を歩いて訪ねた。世界遺産に登録されただけあって実に多くの古墳が点在しており大小いろんな形の古墳が面白い。残念ながら開発で消えた古墳も多くある。

今回のコースの最寄り駅は地下鉄なかもず駅。まず定の山古墳へ。前方後円墳でいまは円墳だけが残っている。芝で覆われた小さな丘だ。丘の上からは住宅の屋根の向こうにニサンザイ古墳が望まれる。ニサンザイ古墳は古墳長300m、周囲に濠を巡らせ木々が繁茂しており立派な形だ。周囲に遊歩道があり部分的に歩く。

次に百済の湯の谷（髪蒼乃水）へ、台地に刻まれた小さな谷の崖下に今でも滾々と湧き出る清水を訪ねる。地形図には載っていないポイントを等高線図とスマホの地図アプリで探しながら迷いながらも探し当てた。これがまさに「高低差」地形ウォークの醍醐味。清水は井戸になっており汲めるように柄杓が置いてある。井戸の水はすぐ手の届くところに水面があり、掬って手にかけてると冷たい!!（ただし飲用禁止）。水神様のお宮の前の木陰で一休み。暑いのと昼を過ぎたので大仙公園内のレストランでランチにすることにした。明るくおしゃれなレストランでランチをいただきゆっくり寛いだ。

体制を立て直し履中天皇陵古墳へ向かう。履中天皇陵古墳は古墳長365mで仁徳、応神に次いで日本で第三位の規模の前方後円墳。ここも濠がありその周囲を半周し。前方部の拝所で参拝した。実に立派な御陵でした。宮内庁管理のため残念ながら古墳内には入れません。あとはいたすけ古墳を線路の向こうに見、長塚古墳の前を通過してJR阪和線百舌鳥に到着です。彼岸を過ぎたというのにまるで真夏日でした。堺市の日は33℃もあったようです。暑かったですが「高低差」地形と古代の歴史を楽しめた一日となりました。 (Gi)



スタートは地下鉄なかもず駅



古墳群周遊路の地図を確認



最初は定の山古墳へ



墳丘の上に上がれば爽快



ニサンザイ古墳



古墳周囲は濠、遊歩道を歩く

次に向かうのは百済の湯の谷（髪蒼乃水）、台地に刻まれた小さな谷の崖下に今でも滾々と湧き出る清水
ここからがまさに「高低差」地形ウォークの真髄 下記等高線図の●印



等高線図

髪蒼乃水



湧水はこの崖の下にある



髪蒼乃水 神功皇后由来とか、古い



湧水は井戸になっている



井戸から柄杓で掬う、冷たい!!



水面はすぐ近く



髪蒼乃水の石碑



百舌鳥川を渡る



民家の庭にザクロが



町内の祭りがあったようだ



昼食は大仙公園内のレストランで



店内の様子



いつもは弁当、今日は豪華に



大仙公園を通り抜けて



前方部西南方向から



陵は宮内庁の管理



拝所



途中で咲いていた



いたすけ古墳



高塚古墳



ゴールのJR阪和線百舌鳥駅



なかもず駅

歩いたルート

終り